



青森県感染症発生情報 (2018年第46週)

I 第46週の発生動向 (2018/11/12~2018/11/18)

1. 水痘については、三戸地方+八戸市保健所管内で**警報**が発令されました。
2. 咽頭結膜熱については、五所川原保健所管内で**警報**が継続しています。
3. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、むつ保健所管内で定点当たり報告数の多い状態が続いています。
4. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型30人でした。

II 第46週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	8	0.62	10	0.67	2	0.13	5	0.71	5	0.56			30	0.46	-5
	R Sウイルス感染症	3	0.38	1	0.11	5	0.50	7	1.40	5	0.83	4	1.00	25	0.60	3
小児科	咽頭結膜熱	1	0.13	5	0.56	2	0.20	6	1.20	2	0.33			16	0.38	-1
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2	0.25	3	0.33	12	1.20	2	0.40	3	0.50	5	1.25	27	0.64	-7
	感染性胃腸炎	32	4.00	17	1.89	80	8.00	34	6.80	18	3.00	8	2.00	189	4.50	37
	水痘	4	0.50			20	2.00	2	0.40	1	0.17	2	0.50	29	0.69	23
	手足口病					4	0.40	7	1.40	18	3.00			29	0.69	-10
	伝染性紅斑	1	0.13			1	0.10	1	0.20	2	0.33	23	5.75	28	0.67	-3
	突発性発しん	2	0.25	3	0.33	4	0.40	1	0.20	3	0.50	1	0.25	14	0.33	0
	ヘルパンギーナ	3	0.38	2	0.22	1	0.10							6	0.14	3
	流行性耳下腺炎			1	0.11	3	0.30	1	0.20	3	0.50	1	0.25	9	0.21	-4
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	3	1.50			1	0.50			2	1.00	1	1.00	7	0.64	3
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)									1	1.00			1	0.17	1
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00							9	9.00	10	1.67	4
	無菌性髄膜炎					2	2.00							2	0.33	1

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

梅毒 (五類全数把握対象疾患) 第3回

全国では梅毒患者の報告数が男女ともに増加しており、青森県でも2016年は28人、2017年は63人と増加しています。人口10万人当たりの報告数(2017年)では、青森県は6位となっています(図)。

梅毒は梅毒トレポネーマという病原菌の感染によって生じる性感染症です。性行為または類似の行為により直接感染する場合(後天梅毒)と、罹患した母体から胎盤を通じて胎児が感染する場合(先天梅毒)があり、青森県では今年2018年に先天梅毒が2例報告されています。**妊婦の感染は早産や死産、胎児の重篤な異常につながる可能性があります。**

梅毒に感染している妊婦には、適切な抗菌治療を分娩4週間前までに完遂することで、先天梅毒を予防することが可能ですので、早めに医療機関を受診し、早期発見・早期治療に努めることが重要です。

感染症法施行規則の一部が改正され、梅毒の発生動向をより詳細に把握するために、届出事項に性風俗の従事歴・利用歴や妊娠の有無等が追加されます(2019年1月1日より施行)。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [梅毒に関するQ&A\(厚生労働省HP\)](#)

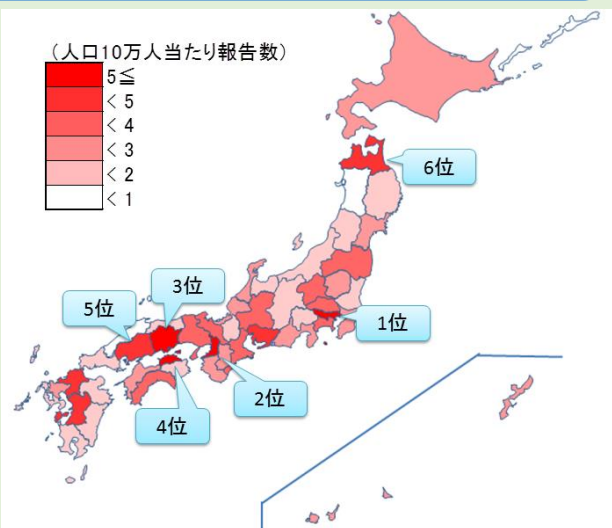


図: 全国における人口10万人当たり梅毒報告数(2017年)

梅毒 Q&A



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前4人 （2018年計：174人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：青森市1人、八戸市1人 （2018年計：34人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：むつ1人 （2018年計：62人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第43週～2018年第46週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
43	H30.10.22 ~ H30.10.28	アメーバ赤痢1人	百日咳1人			クリプトスポリジウム症9人	百日咳3人
44	H30.10.29 ~ H30.11.4	百日咳2人	E型肝炎1人				
45	H30.11.5 ~ H30.11.11	梅毒1人	百日咳2人	百日咳1人		急性弛緩性麻痺1人	百日咳1人
46	H30.11.12 ~ H30.11.18	腸管出血性大腸菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人			百日咳1人

・第45週に青森市保健所管内で梅毒1人、弘前保健所管内で百日咳2人、八戸市保健所管内で百日咳1人の届け出がありましたので追加しました。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第43週～2018年第46週） (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
43	H30.10.22 ~ H30.10.28	1	1				
44	H30.10.29 ~ H30.11.4	1	1			1	
45	H30.11.5 ~ H30.11.11	1			2	1	
46	H30.11.12 ~ H30.11.18	1	4				

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第45週までの累計）

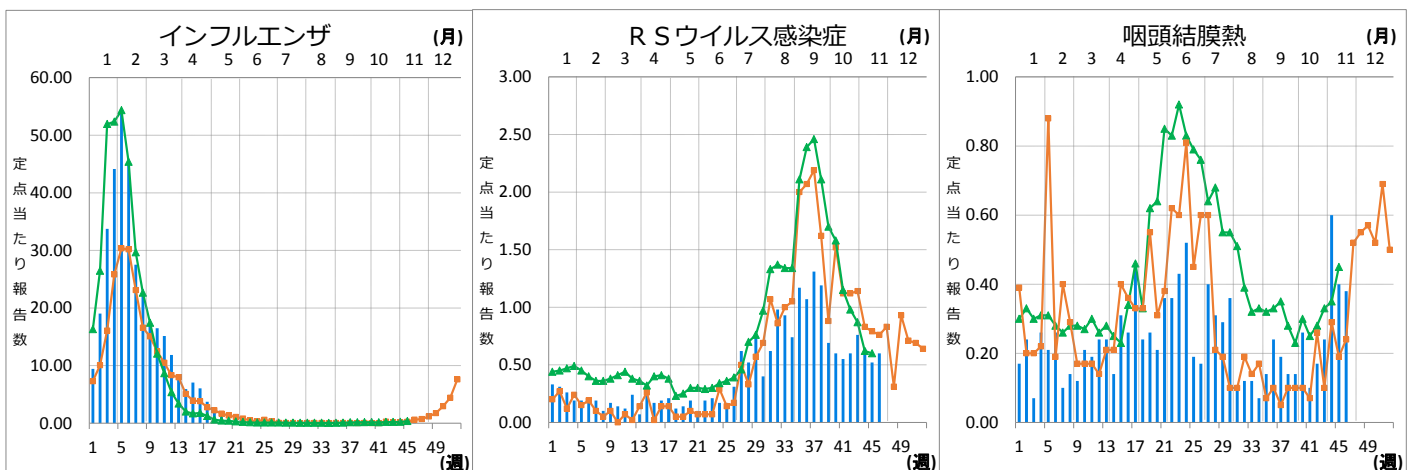
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	18778	4	221	3651	34	20	391	859	11	6
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	3	2	74	1	3	150	175	285	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	47	13	2	1916	30	722	212	1882	108
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	562	24	182	593	1108	63	412	30	2731	374
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	5955	154	110	69	9127	2032	251	20		

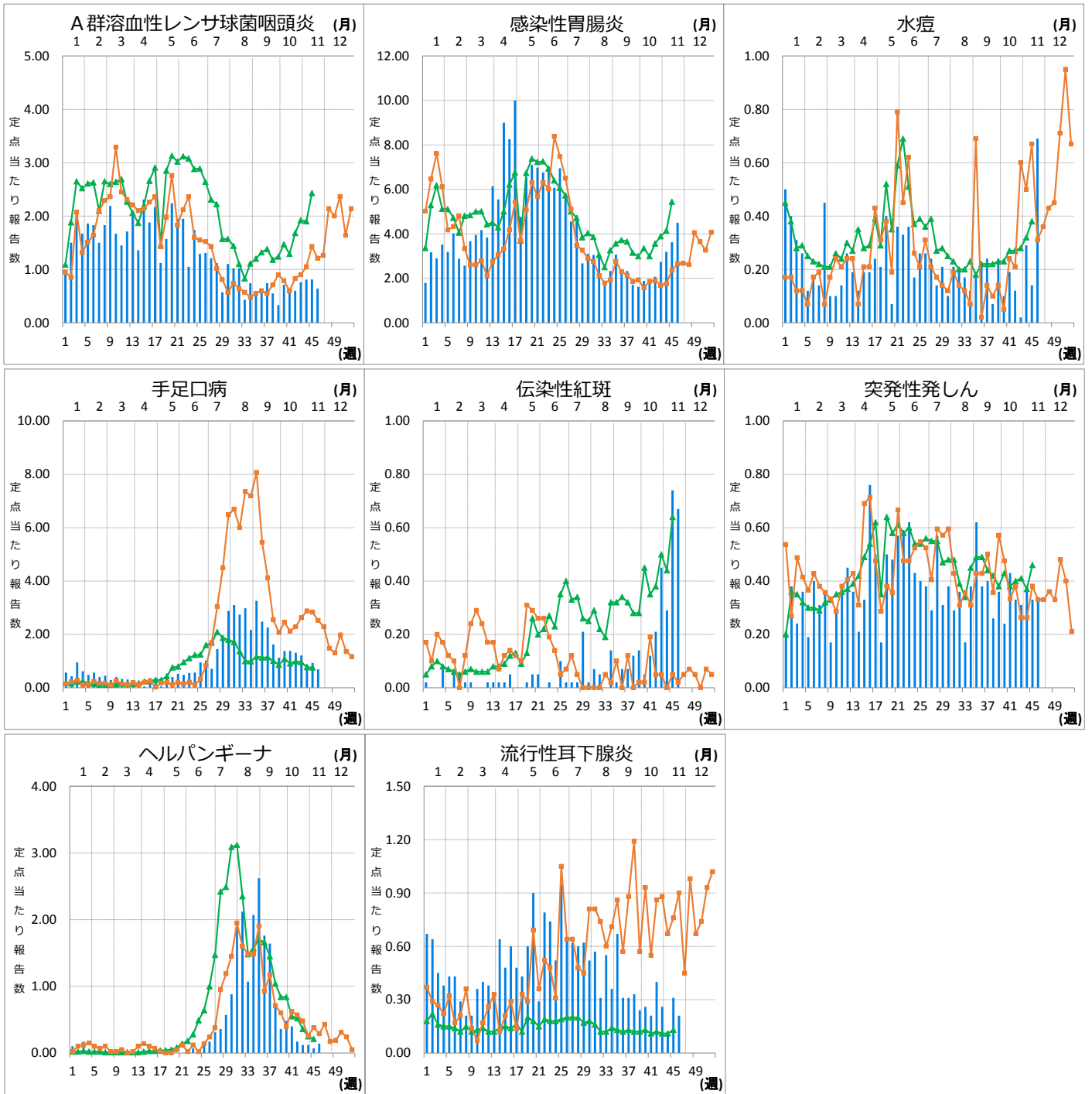
青森県（2018年第1週～2018年第46週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	174	3	34	1	2	1	5	6	3	21
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	1	1	9	3	4	4	1	12	4	31
分類	五類	五類	五類							
疾病名	播種性クリプトコックス症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳							
累積報告数	1	5	62							

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第46週、ただし全国は前週）

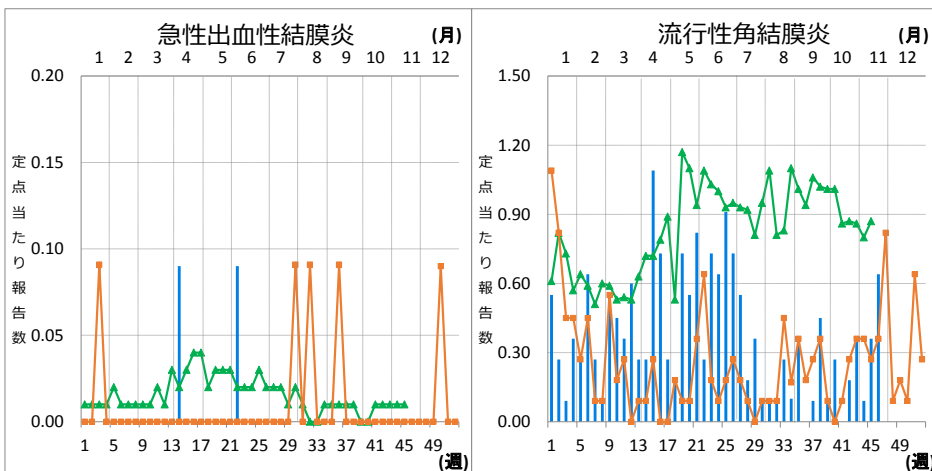
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





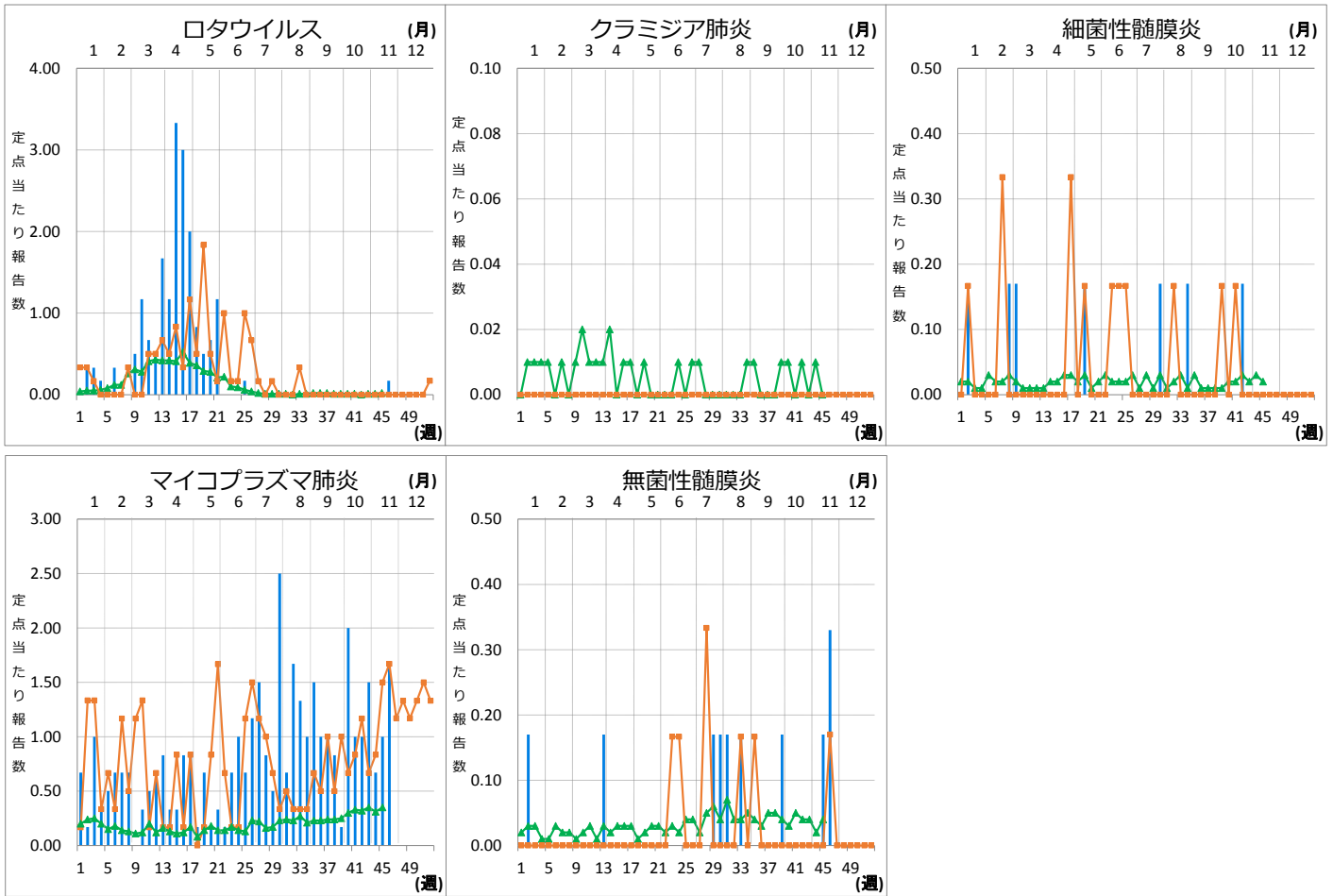
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第46週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第46週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第46週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-39週	40-43週	44週	45週	46週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	1	0	0	0	9
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	26	0	0	0	131
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	1	0	0	0	15
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	26	0	0	0	238